

# 幼 児 の 教 育

昭和三十三年五月

## 若 葉

日本中が若葉に映えてゐる。

「富士一つ埋み残して青葉かな。」

野さいふ野、森さいふ森、山さいふ山、園さいふ園。それはみんな青葉のかたまりである。その緑濃いかたまりをつなぎあはせて、若葉の日本が、まぶしいやうに潑刺さして目の前に浮ぶ。

幼稚園は子さものかたまりである。つい此の四月に入園して来た子さも達をつぎへて、宛然たる若葉のかたまりである。その新鮮さ、その清浄さ、その潑刺さは、或は樹々の若葉に優つてもゐよう。その幼稚園をつなぎあはせて、幼児の日本が、まぶしいやうに潑刺さして目の前に浮ぶ。

日本中が子さもに映えてゐる。